

自閉症・情緒障害特別支援学級担当者専門性向上セミナー

各教科等の学習において生じる
困難さを踏まえた自立活動の指導

水戸市立第四中学校
小泉 俊子



学校概要

水戸市立第四中学校

部活動が盛ん・商業施設が多い

生徒数	9 8 2 名	(特別支援学級在籍 6 5 名)
学級数	3 9 クラス	(特別支援学級 1 1 クラス)
職員	7 8 名	



特別支援学級名称・在籍人数

サポート 1	(知的障害特別支援学級)	1 年 6 名
サポート 2	(知的障害特別支援学級)	1 年 6 名
サポート 3	(知的障害特別支援学級)	2 年 6 名
サポート 4	(知的障害特別支援学級)	3 年 6 名
サポート 5	(知的障害特別支援学級)	3 年 6 名
学習支援 1	(自閉症・情緒障害特別支援学級)	1 年 6 名
学習支援 2	(自閉症・情緒障害特別支援学級)	1 年 6 名
学習支援 3	(自閉症・情緒障害特別支援学級)	2 年 5 名
学習支援 4	(自閉症・情緒障害特別支援学級)	2 年 4 名
学習支援 5	(自閉症・情緒障害特別支援学級)	3 年 7 名
学習支援 6	(自閉症・情緒障害特別支援学級)	3 年 7 名



自閉症・情緒障害学級に在籍する生徒の実態

自ら改善しようと思えることが難しくなる
原因 → 思春期・自分はできない・自己否定

- 自己肯定感を高め、自信をもって生活することが出来る
- 対人関係を築くことやコミュニケーションスキルを身に付けることが必要

自閉症・情緒障害学級の課題

- 個別の対応が難しい
衝動性が高い・こだわりが強い・不安が強い
- 交流学級等との連携
交流学級担任・各教科担当・部活動・保護者
- 本人の自己理解
自己肯定感が下がる・友達と比較



Aさんについて

診断名

自閉スペクトラム症

実態把握

- 初めてのことは緊張する
- 決められたことはきちんと行う
- すぐにあきらめてしまう
- 興味のあることには熱心に取り組む
- 感情の表現が難しい
- 絵をかくことが得意で好き



交流学級担任・保護者から

- 言葉を字義通りに捉えてしまい、比喩的な表現や例えが理解できない
- 興味が持てない課題には関心を示さない
- 学級や部活動では気の合った友達はあるが、いつも自分のペースで行動する
- イライラすると自傷行為をしてしまう
- 集団の中では皆と一緒に頑張っている



具体的な様子 → 困難の背景

気持ちを表現できず、否定的になってしまう

→ 自己表現の難しさ

少しの間違いが全部だめと考えてしまう

→ 不安の強さ

自分の好きなこと以外は受けつけない

→ 興味関心の偏り



各教科における困難さ

- 国語 → 登場人物の気持ちが理解できない
自分の考えや感想を表現できない
- 英語 → 友達との活動に戸惑ってしまう
- 社会 → 興味がない分野は取り組まない
- 体育 → 友達との活動を避ける傾向にある



実態把握から選定した項目と中心的な課題

項目の選定 実態	心理的な安定 (1) 情緒の安定に関すること 自分の気持ちを伝えることや相手の気持ちを考えることが難しい。	人間関係の形成 (2) 他者の意図や感情の理解に関すること 周囲の状況を把握して行動することが難しい。	コミュニケーション (2) 言語の表出と受容に関すること (5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること 相手の言葉や表情、周囲の状況を理解し、行動することが難しい。 自分の興味関心のないものに取り組むことが難しい。
-------------	--	--	---

【中心的な課題】

自分の気持ちを相手に伝えることや相手の気持ちを考えることが難しい。

周囲の状況を把握して行動することが難しい。自分の興味関心のないものに取り組むことが難しい。



自立活動の指導内容

- ・好きなことや得意なことを生かし、自己肯定感を高める学習（個人）
- ・読み物資料等から自己理解を深め、他者理解へつなげる学習（少人数）



自立活動の指導における留意点

- ① 本人の好きなことを共有する
- ② 肯定的な自己理解を深める
- ③ 「できた」「わかった」経験を重ねる



自己理解を深めるために

読み物資料等をソーシャルスキルに生かす ①

「あなたにとって大切なものは」

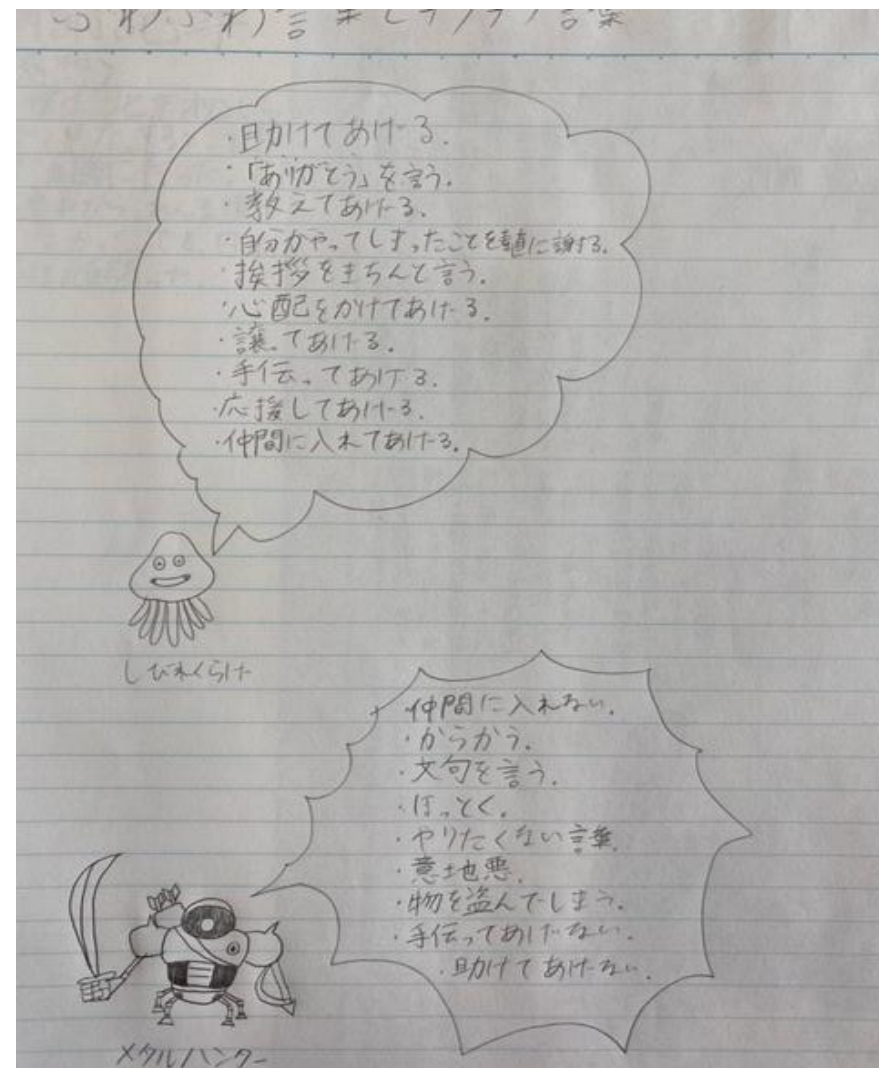
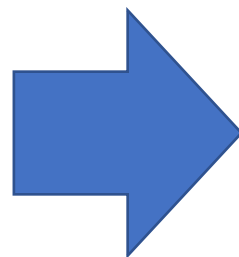
自分と社会との関わりの中で大切にしたいものは何かを考え、友達の考えも聞いていく

「砂漠でサバイバル ～ あなたならどうする」

砂漠で生き残るために必要だと思われるものを考えていく



読み物資料



自己理解を深めるために

読み物資料等をソーシャルスキルに生かす ②

自己理解を深め、他者理解につなげる

「自分を知ろう!クイズ」

「もしなれるなら何になりたい?」

「がんばれおまえ」(読み物資料)

自己理解から他者理解へ

授業後の感想

- ・自分に好きなものがたくさんあることがわかった
- ・友達は自分と違う考えだった

交流学級では

- ・行事の感想や自分の考えを書けるようになった
- ・スピーチや話し合い活動に参加するようになった
- ・友達と話をする機会が増えた

好きなことを各教科へ生かした学習

社会科地理（世界）に全く興味がない

➡ 試験は白紙

➡ 繰り返し学習しても難しい

➡ 好きなもの = ゲームのキャラクター

社会科地理のヨーロッパ州



選定した項目と自立活動の関連

心理的な安定

(1) 情緒の安定に関すること

- ・得意なことを生かし課題に意欲的になり、自信をもつようになった

人間関係の形成

(2) 他者の意図や感情の理解に関すること

- ・相手の立場や相手の考えを意識するようになった

コミュニケーション

(2) 言語の表出と受容に関すること
(5) 状況に応じたコミュニケーションに関すること

- ・自分の考えを伝えられるようになってきた
- ・クラスの友達との活動に安心して参加できるようになった



交流学級担任との連携

- ・ 自立活動の指導内容を伝える
好きなものや得意なことを共有



活動が止まってしまったとき



声掛けによって活動できるようになった



各教科担当との連携

社会 → 自信をもって地理に取り組むようになった

国語 → 毎時間、今日の活動の記録が自分の考えや感想を書けるようになった

英語 → 友達との活動に参加できるようになった

体育 → 試合に進んで練習するようになった



保護者との連携

- プラスの内容を伝える
自立活動の内容、行事で頑張ったこと
- 家庭であった出来事を共有する
休日の過ごし方
- 問題点はできるだけ一緒に考える
解決法を提案し、学校と家庭で見えていく



その他の機関との関わり

保健室 → 心の相談

小学校担任 → 小学校の情報

SC → 本人・保護者・担任

病院 → 障害の併存

福祉関係 → 個別の支援計画



支援学級において

安心できる教室

思っていることを自由に話せる

生徒の立場で考える

言動に理由がある

自分で考える

授業だけでなく学校生活全般で



Aさんのその後の変化

- ・ 様々なことに少しずつ関心をもつようになった
- ・ 自分のことを話すようになった
- ・ 自信をもって活動する場面が増えた
- ・ 学習面全般においても成績が向上した
- ・ 友達と関わるようになっていった



個別の教育支援計画

本人・保護者の願い
好きなこと得意なこと

進学先にも

個別の教育支援計画 【支援シート】				作成者 小倉優子	作成日 R . . . 新規・更新 水戸市立第四中学校
ふりがな		性別	生 年 月 日	在 籍	
氏名		男	平成 年 月 日		
本人の願い					
保護者の願い					
得意なこと 好きなこと					
苦手なこと					
支援の方針 (長期目標)					
学校における 合理的配慮	合理的配慮		評価・引継事項		
関係機関との連携	関係機関名		支援の内容		
備考 (特に配慮 すべき点)					
上記の内容について同意します。 令和 年 月 日 保護者氏名					
必要に応じて、関係機関へ情報開示することを承諾します。 令和 年 月 日 保護者氏名					



授業の記録

よかったこと
頑張ったこと

➡ 励みになる

サポート4教室 授業の記録

月 日 ()

授業の記録をお願いします。(頑張ったことや気になったこと等)

	授業 (担当者)	記録 授業出席生徒に○をつけて、記録をお願いします。
朝の会		
1	()	
2	()	
3	()	
4	()	
給食		
5	()	
6	()	
清掃 終わりの会	()	



自立活動の指導で大切にしていること

- 自分の好きなことや得意なことを深めることが自信につながる
- 課題の改善だけでなく強みを認めて自己肯定感を高めることが他者への気づきになっていく
- 交流学級担任との定期的な情報交換や保護者との関わりが大切

自立活動の指導での課題

- 自尊心を損なわない
- 進路に向けて

